

は じ め に

香川県小学校教育研究会道德部会 部会長 小柳 義仁

5月のゴールデンウィーク明けから新型コロナウイルス感染症への対応が緩和され、今年度の夏季研修会を2年ぶりに集合研修というかたちで行うことが可能になったことを大変うれしく思っています。私は、昨年度までオンライン研修というスタイルの研修に数多く参加する中で、オンライン研修は「伝達」という側面では、効率的で効果的な研修だと感じていました。しかしながら、話し合う相手の表情やしぐさ、語り口調が分かりにくく、何より直接会っていないので、悩みを共有したり本音で語り合ったりすることが難しいことも同時に感じていました。今年度は対面して話し合いができるので、道德授業や道德教育のよりよいあり方について活発な議論がなされることを期待しています。

さて、今年度の研究主題は「道德的諸価値への考えを深め、自己のよりよい生き方を求める道德教育」であり、サブテーマは「子どもが生活と道德的諸価値を豊かにつなぐ道德学習の展開」です。また、本研修会における分科会の主題Ⅰは「子どもが生活と道德的諸価値を豊かにつなぎ、よりよい生き方を求めるカリキュラム・マネジメント」であり、主題Ⅱは「子どもが生活と道德的諸価値を豊かにつなぎ、考えを深める主体的・対話的な授業」としています。

主題Ⅰを扱う分科会（①～③）では、各校の特色をいかしながら、道德科と他教科、あるいは、道德科と特別活動等を効果的に関連させた実践発表が期待されます。討議会に参加される先生方には、ぜひ、自校の状況と比較しながら実践発表に耳を傾け、自校に当てはめることができることを探っていただきたいと考えています。

主題Ⅱを扱う分科会（④・⑤）では、実践発表を聞いた後、その実践の優れているところや他にも取り組みそうな別の方策を議論していただきたいと考えています。また、忘れてはならないのは、「児童が友だちと交流することをとおして考えを深め、一人ひとりがそれぞれに道德的な価値観を高めることができたか」という視点です。学習活動の工夫点のみに目を奪われて、児童の変容に焦点が当てられずに話し合いが終わってしまわないよう、活発な議論が展開されることを期待しています。

最後になりましたが、本研修会に対してご指導、ご支援賜りました香川県教育委員会をはじめ、関係者の皆様方に深くお礼申しあげます。また、香小研仲善支部道德部会の皆様におかれましては、開催支部として、実践提案から会場準備に至るまで多大なご尽力をいただきましたことに心より感謝申しあげますとともに、本県道德教育のさらなる充実・発展を祈念して挨拶いたします。